

# 実施例

## 【2005 年度インターンシップ実績】

時期.....2005 年 10 月～2006 年 1 月

参加学生.....韓国天安市 白石(ペッソク)文化大学より 3 名

受け入れ企業・団体.....福島県国際交流協会、福島県立盲学校、中国料理  
石林、博向堂書店

冊子よ

**ユ・ソンウンさんの  
(韓国の白石大学2年生)**

**インターンシップ体験**  
★★★★★★★★

私は、(財)福島県国際交流協会で1カ月間インターンシップ体験をしたユソンウンと申します。今年、海外インターンシップの募集に申し込んで思いつけないことにいい結果が出て、今年の10月15日福島に来ることになりました。

今、6人の学生が東京に1人、名古屋に2人、そして3人は福島でインターンシップとして働いています。初めて働いたところは盲学校で他の1人と一緒に行きました。大変なことはありませんでした。毎日、朝学校に行くのが楽しくてたまりませんでした。やさしい先生たちと明るくて朗らかな学生たちがいたからではないかと思いました。そしてヨン様を好きな先生がい



まして、私たちに会うたびに喜んで迎えてくれたり韓国語で話したりしてくれました。ドングリが好きな尚子ちゃんからドングリをもらいましたが、尚子ちゃんが「ユ先生、これ思い出に持ってってください。」と言いました。その言葉に胸をうたれました。

あつという間の2週間が過ぎて2番目に働くことになったところは、この(財)福島国際交流協会、初めの出勤の日、緊張したあまりきちんと挨拶もできませんでした。もう慣れてきて簡単な仕事ですけど、任せるとそれだけでうれしかったです。何もしていないほどつらいことはないからです。失敗したこともたくさんありましたが、みなさんが大目に見てくださったのでむしろ早く慣れるようになったのではないかなと思いました。ここに来て考えたのは、これから日本語だけでなくいろいろな国の言葉を習っているいろいろな国の人と会って交流したいと思いました。その日を目指して頑張ります。今まで指導してくれた方々に感謝しております。ありがとうございました。

福島県国際交流協会  
り

**韓国の学生来日  
学校や職場巡る**

「日本語や日本のビジネスなど、さまざまなことを学びたい」と話すのは、10月からインターンシップで来日している韓国の白石大学日本語学科二年生・ヘイソンさん(三〇)、ユ・ソンウンさん(三〇)、ペ・ハナさん(二〇)の三人。

三人は飲食店や学校などさまざまな職場での仕事を体験。それぞれ、福島市、二本松市、伊達町の福島韓国語・韓国文化ネットワークの早さを惜しんでいた。

流ちょうな日本語を話す三人は「京都や富士山などいろいろな所に行ってみたい。同年代の子とも、もっと交流したい」と声を弾ませたが、「三カ月間は短すぎる」と充実した時間が過ぎる早さを惜しんでいた。



福島民友  
2005.12.1 掲載